

令和5年度 教員免許取得者数

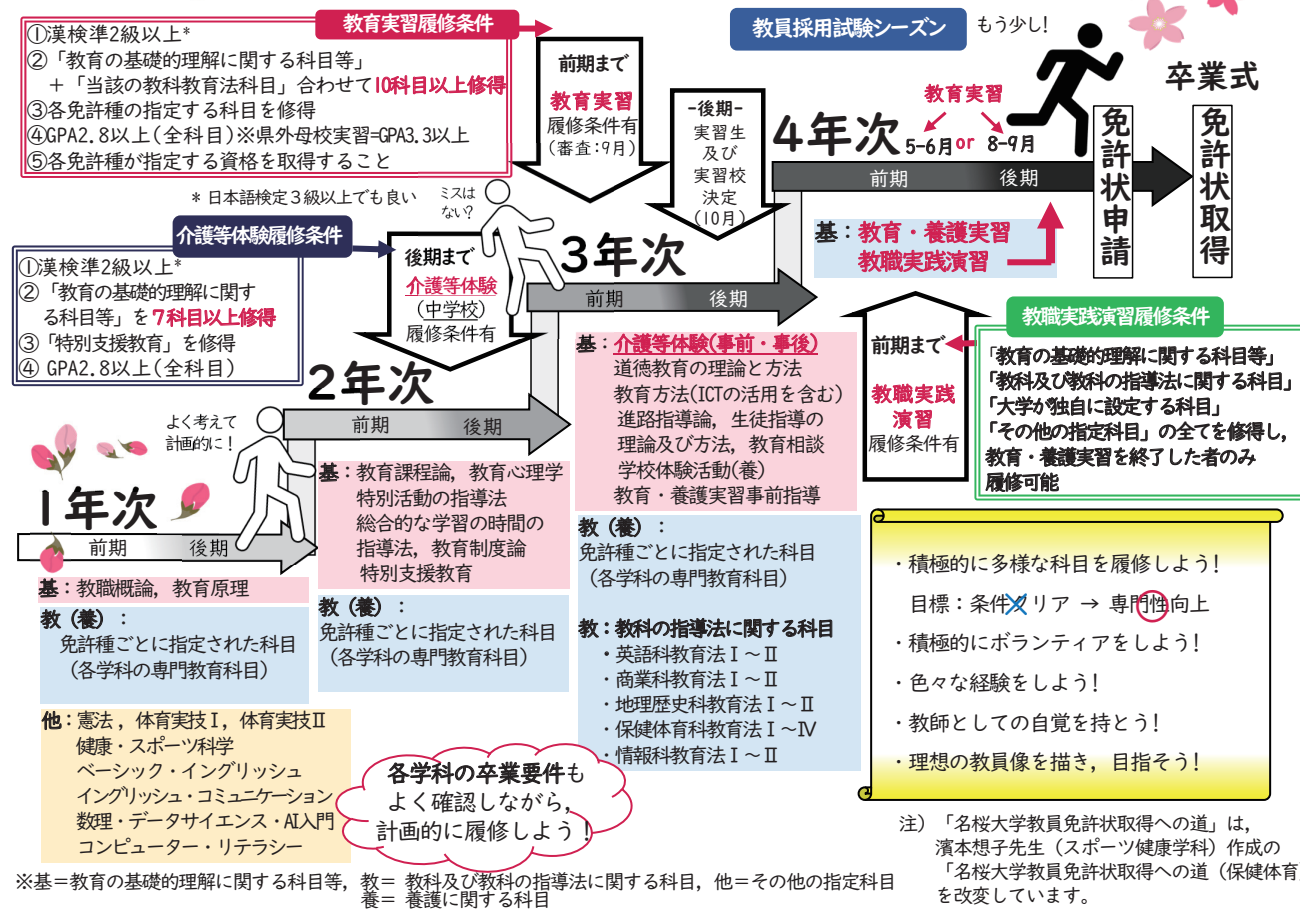
教科等	英語 (専修)		英語 (一種)		商業 (一種)	情報 (一種)	保健体育 (一種)		養護 (一種)
校 種	中	高	中	高	高	高	中	高	—
免許取得者数	1	1	17 (20)	18 (21)	0	1	23 (24)	23 (24)	12 (17)

注：取得者数欄()は、科目等履修生も含みます。

教職課程のてびきを熟読すること!

名桜大学教員免許状取得への道

※便宜上、簡略化したりおおよその時期を示しています。あくまで、参考資料としてご利用ください。



～教員養成支援センターご利用案内～

利用時間＊平日(月曜日から金曜日) 8：30～17：00

※長期休業中も利用可能です！

休館日＊土曜日・日曜日・祝祭日

場所＊名桜大学 本部棟 2F(教務課 隣)

教員養成支援センター TEL 0980-51-1560

- 教職の履修ってどうすればいいの？
- 教員採用試験の勉強がしたい！
- 教員免許取得に必要な資格は？
- 学生ボランティアに興味がある！
- 留学に行ったらどのくらいで教員免許取得できるか？
- 教育・養護実習について知りたい！

など、教職に関する質問や気になることがある学生、将来教員をめざす学生はぜひ教員養成支援センターにお越しください!!

教員養成支援センター

だより

第35号

2024年3月20日発行
編集・発行：名桜大学教員養成支援センター
所在地：沖縄県名護市字為又1220-1

国内の困難と教育の役割

現代はコロナ禍が収束してもなお、今なお続いている海外での紛争も加わって、閉塞感が漂っており、将来が見通せない時代である。経済においてもあらゆる物の値段が上昇し、国民の肌感覚の景気感は一変とも言えないだろう。さらに、今年の元旦に起こった自然災害と翌日の飛行機事故は国民を暗澹たる思いにしている。国内の教育界においては、「教師のバトン」に始まった、労働環境の厳しさの指摘が学校現場での教員不足に拍車をかけている。不安定で困難を抱える日本社会について教育の果たす役割について述べる。

今年、能登半島で起こった自然災害についてマスコミ報道で知り、一日で被災難民になり、住宅を失い、家族の命を奪われた被災した方々、また家族の元を離れて他地区に集団移動する中学生達の姿に多くの人々が心を痛めたり、無力感を感じたのではないだろうか。その様な厳しい状況の中で、次々と訪れた救助隊や専門集団の方々に対して、被災した方々が気を遣ってお礼を述べたり、全国各地からボランティアの応募があることに日本の素晴らしい精神文化と希望を感じた。日本では技術革新が進み、人々の生活は豊かになったが、その便利で幸せな生活は一瞬にして奪われることもある。特に、今年の被災では、東日本大震災や熊本地震でお世話になった御礼としてボランティアを申し出る人々に「人の絆」の大切さを実感した。これから起こり得る国内の困難に対して、「人の絆」が危機を救う大切な要素であり、困っている人を互いに「思いやる気持ち」を児童、生徒、学生が持つことが大切だと考える。その点において教育は大きな役割を果たす。

過去の国内教育をふり返ると、1995年のオウム教事件や1997年の神戸連続児童殺傷事件における関係した若者の非人間的かつ残酷な行為を反省し、文科省は2002年に「ゆとり教育」を提

唱し、学力に偏重することなく、「思いやり」を持つ児童生徒を育成することを目指した。その一環として、家庭や学校での教育では限界があると考え、児童生徒と地域住民の絆やつながりを強くするために、「総合的な学習」をカリキュラムに組み込み、地域とのつながりを強める施策を行った。しかし、OECDの国々を中心とした国際的学習到達度テストであるPISAの2004年報告で日本の児童生徒の一部の学力順位が低下したことが指摘されると、教育政策は一転して、学力偏重へ後戻りし、2007年に全国学力テストが実施された。

日本の教育政策は、次々と方針が変更されて現場の教員は混乱している印象をうける。教育は、不易流行（ふえきりゅうこう）と表現される。つまり、教育は、変わらない面（不易）と時勢に応じて変化する面（流行）があるという事である。私も約25年前に現場教員として懸命に取り組んだ「ゆとり教育」は「思いやりを育てる」「地域との絆を強くする」ことにおいて、素晴らしい教育方針だったと感じる。現在と過去との状況は異なるが、起こり得る国内の困難に備えて、「ゆとり教育」が目指した理念を再び見つめ直す必要はないだろうか。

現代の国内の困難に対して、不安定な心理状況にある児童生徒数が少なくないと推測する。学校は、児童生徒が安心して過ごせる居場所である必要性が益々高まっている。しかし、教員不足の学校現場においては、教師が忙しすぎては、児童生徒へのケアができない。教員という職業に魅力を感じ、本気で教員を目指す学生を増やしていくことは大学教職課程における喫緊の課題でもある。

国際学部 国際文化学科 教授
渡慶次正則

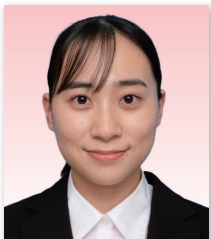
卒業生 から 後輩たち へのメッセージ ～合格体験記～

教員採用編

国際学群 語学教育専攻 4年次

かわむら あやの
河村 彩乃（中学校（英語）大分県）（大分県立大分鶴崎高等学校出身）

この度、大分県の教員採用試験で中学校英語教諭を受験し、合格することができました。
私は、大学3年生の10月ごろから本格的に採用試験のための勉強を始めました。日頃の授業での課題と採用試験のための勉強の両立はとても難しく、正直、何度もやめたいと思いました。しかし、教員養成講座に参加し、周りで頑張っている仲間がいたおかげで、よし！頑張ろう！と何度も思うことができました。また、全てを完璧にこなすのはメンタル的に厳しかったため、70%できたら大丈夫と自分の中でルールを少し低めに設定することで、私は頑張りが続けることができました。やる気が出ない日や何もやりたくない日は、思い切って友だちと遊んでみたり、休んだりすることもありました。時には自分は教員に向いているのかを考えることもありましたが、教員をめざした理由や憧れの先生方を想像すると、自然とやる気が溢れました。
教員採用試験まではとても大変ですが、周りの友だちや先生方を頼り、残りの学校生活を楽しみながら、精一杯頑張ってください！応援しています！



国際学群 語学教育専攻 4年次

いがらし たけむね
五十嵐 太建宗（中・高共通（英語）東京都）（高等学校卒業程度認定試験合格）

私は、令和5年度・東京都教員採用試験を受験し、合格をいただきました。試験までを振り返ると、大事な心がけが2つありました。
1つ目は、毎日の講義を積み重ねていくことです。教職にかかる英語の講義では、専門的な教育方法を学ぶことができます。採用試験における面接等へ臨むにあたって、大きな力になりました。また、教職諸科目においては、教育にかかる知識のインプットとアウトプットがなされます。知識の定着が求められる一次試験にむけて、役立てることができました。教職課程における講義を通して、教師としての土台を形成していくことと同時に、採用試験に向けた学びにもなっていたことを振り返ります。
2つ目は、原動力を見失わないことです。私は、「成長」に喜びの感情を抱きます。自分自身をふくめ、人の成長に立ち会える教職に就きたいという思いが、原動力でした。心許なく迷った時は、原点を思い出すことを心がけました。
合格にむけて、試験勉強が必須です。しかし、勉強をできるだけが教師ではないです。たくさんの人と話して、人を知ろうとして、豊かな心を育ててください。

国際学群 語学教育専攻 4年次

なかもと たくと
中本 卓里（中学校（英語）北海道）（札幌日本大学高等学校（中高一貫コース）出身）

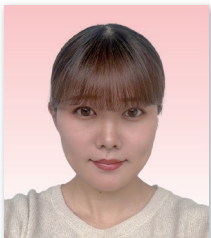
教員採用試験突破を目指して頑張る皆さんに忘れないでいただきたいことは、「問題を解くことはゴールではない」ということです。過去問題集を解くというのは、自分の弱点やその県の出題傾向を探るための手段にすぎません。ですので、問題を解き「合っていた」「間違っていた」と一喜一憂して次に行くのではなく、間違えた問題を集めた自分だけの弱点問題集を作るなどして、解いた問題は二度と間違えないようにしましょう。合格できるかどうかは丸付けをし終えてからの行動で決まりますし、過去問題集は5年分あれば十分です。
受験は体力勝負なので、「体調が悪いときは無理をして長引かせるのではなく、すぐに休養を取り回復」、これを念頭に北部教員養成講座やゼミ先生方のお力もお借りしながら、合格に向かって突き進んで下さい。



人間健康学部 スポーツ健康学科 科目等履修生

かわのう え さき な
川之上 咲菜（（養護教諭）鹿児島県）（鹿児島県立川辺高等学校出身）

私が教員採用試験に一発合格できたのは保健室ボランティアの経験が生かされたからだと考えています。私は約2年間中学校の保健室ボランティアを継続しており、参考書や授業の内容だけでは理解やイメージが難しい内容を、実際の学校現場・保健室での体験的な学びと照らし合わせることでより深い理解に変えることができました。またボランティアでは生徒から「先生」と呼ばれ養護教諭と変わらない対応を求められるため、少しでも知識を増やし生徒たちの役に立ちたいという気持ちが試験勉強のモチベーションに繋がりました。生徒との何気ない会話から常に学びがあり、2次試験も経験を生かし自信をもって取り組むことができました。「教師になりたい・もっと学びたい」という気持ちを口に出していると、沢山の人が学びの場を作ってくださったり、学びの機会に繋げてくださいました。探せば様々な学びの機会があります。ぜひ時間を大切に周りの人の力を借りながら様々な学びにチャレンジしてみてください。



教員採用および大学院合格編

国際学群 語学教育専攻 4年次

おおた たかひろ
太田 高弘（中学校（英語）大分県）（福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻教育実践力開発コース[※]中等教科教育高度実践力プログラム）（大分県立大分鶴崎高等学校出身）

今年度、大分県教員採用試験及び福岡教育大学教職大学院を受験し、無事に合格することができました。“教員になる”という夢を持って名桜大学に入学してから4年間、教職の授業やゼミでの活動を通して、問題の本質を探究し、学ぶことの楽しさを実感することができました。
教員採用試験に向けては、毎朝教育法規を覚えることと1日に覚えたことをまとめファイリングすることを徹底しました。採用試験に向けて対策する中で、覚えたことが形として見えたことが試験での自信となり落ち着いて試験に挑むことができました。また、一人で勉強に取り組む時は不安や焦りでくじけそうになることもありましたが、仲間と協力して一緒に取り組むことでモチベーションを保つことができました。
最後に、目標に向けて全力で努力し、良い結果を掴むことができたのは、名桜大学の先生方をはじめ、北部教員養成講座の先生方や教員支援センターの職員の皆さんのサポートのおかげです。心より感謝いたします。
生徒と一緒に学び続けられる教員を目指し、これからも元気に頑張ります。皆さんの自分の目標に向けて全力で挑戦する姿を陰ながら応援しています。



人間健康学部 スポーツ健康学科 4年次

きんじょう けい い
金城 圭依（中学（保健体育）長崎県）（長崎大学大学院 教育学研究科 教職実践専攻 学級経営・授業実践開発コース）（沖縄県立糸満高等学校出身）

教員を目指すに当たって、今の自分の力では現場でやっていける自信がなく、大学院を目指すようになりました。一時は教員になる夢を諦めかけたり、4年の夏季休暇は教育実習に大学院と教採の試験対策と心が折れそうになったりもしました。しかし、「私ならできる!」と自分を信じてやり切ったことが結果に繋がったのだと思います。
勉強は正直辛いですが、自分のやり方をみつけて、とにかく出来ることに全力で取り組み続けてください。たまには勉強をせずに、思い切って遊びに行く日をつくることもリフレッシュになります。また、私が合格できたのも周りの人たちの支えがあったからだと思います。1人で頑張り過ぎず、周りの人たちを頼ってみてください。きっと皆さんを支えてくれる人たちが沢山いると思います。
教採の日が迫ってきており、焦ったり不安になったりする人もいると思います。そんな時は目標を思い出し、自分を信じてみてください。そして、悔いが残らないくらい最後まで全力でやり切ってください。陰ながら応援しております。



人間健康学部 スポーツ健康学科 4年次

おく よし き
奥 芳樹（中学校（保健体育）広島県）（広島大学大学院（専門職学位課程） 教職開発専攻[※] 教職開発プログラム）（広島県立祇園北高等学校出身）

この度、広島県教員採用試験（中学校・保健体育）、広島大学大学院人間科学研究科専門職学位課程教職開発専攻教職開発プログラムに合格をいただきました。中学生の頃から抱いていた夢が現実になり、濱本先生をはじめとして、支えてくださった教員の皆様、声をかけてくれた仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。
私は、模擬授業での失敗経験から“このまま教員になってもいいのか？”という不安を抱え、教職大学院への進学を決意しました。勉強や実習、課題などをこなすことがつらいと感じる瞬間もありましたが、計画的に勉強に取り組み、着実にこなしていくことが重要だと強く感じました。ただ、時には好きなことに時間を使う日を設け、息抜きをすることも大切です。
試験に合格することはゴールではなく、教員としてのスタートです。これからも強い意志をもって学び続け、成長できる教員になれるよう頑張りますので、皆さんも頑張ってください。応援しています。



大学院合格編

人間健康学部 スポーツ健康学科 4年次

おおもり みゆ き
大森 実結希（岡山大学大学院教育研究科 専門職学位課程 教育実践専攻）（私立松柏学院倉吉北高等学校出身）

私はこの度、岡山大学大学院教育研究科専門職学位課程教育実践専攻に合格しました。志望のきっかけは、大学での学びと教育実習での実践の中で、教員として児童生徒の前に立つ機会が増え、養護教諭になりたいという意識がより一層高まった反面、学校全体の動きが分からなかったことや、課題を抱える生徒に対して行動変容に繋がる指導を行えなかったなど多くの課題がありがりました。その思いから教育者として、指導力の向上や学校全体を把握し、学校づくりをサポートできる有力な一員になりたいと考え志望しました。受験準備としては、願書・志望理由書、課題論文、研究計画書の作成、養護の基本知識などを勉強しました。課題論文や研究計画書は、本大学の先生方にアドバイスをいただきながら研究したいこと等をまとめました。お忙しい中時間をつくってくださった奥本先生、神田先生、神崎先生への感謝は計り知れません。感謝を忘れず大学院でより一層勉学に勤しんでいきます。

